



CARBON NEUTRAL

川崎CN ブランド 2024



製品紹介パンフレット

カーボンニュートラル(CN)の実現に貢献する
製品・技術、サービスのCO₂削減を
ライフサイクル全体で評価

川崎CNブランド等推進協議会

川崎CNブランド2024の講評



川崎CNブランド等推進協議会

会長 **足立 芳寛**

(東京工科大学 客員教授)

近年、記録的な猛暑や極端な集中豪雨など、国内外で地球温暖化の影響による災害が頻発しており、その対策は待ったなしであると改めて感じさせられる状況となっています。

こうした中で、我が国では 2023 年に GX 推進法が制定され、カーボンプライシングの導入が決定するなど、大企業を中心に、産業界における CO₂をはじめとする温室効果ガス排出量削減の取組がより一層推進される環境が構築されつつあります。

加えて、国では関連他者の排出である Scope 3 を含めたサプライチェーン全体での CO₂排出量の開示義務化に向けた検討も進められており、大企業のみならず中小企業においても排出量の把握が求められる状況が近づいてきています。

このような中、2009 年度に「低 CO₂川崎ブランド」として開始し、2023 年度にリニューアルを行った「川崎 CN ブランド」は、製品・技術等のライフサイクル全体での CO₂排出量を見える化し、従来製品等からの削減効果を評価・発信するとともに、認定製品・技術、サービスの普及・浸透を通じて市民・事業者へ脱炭素化の取り組みを波及させていくことでカーボンニュートラルの実現を目指す、時代を先取りした制度です。

第 2 回目となる今年度は 9 件の製品・サービスを認定し、脱炭素社会の実現へ特に貢献すると考えられる 1 件を大賞として選定しました。

株式会社計測技術研究所様の「Ene-phiant series[®] 回生型電源(双方向)」は、電源としての役割と負荷装置としての役割を 1 台で行うことが可能な試験用電源で、従来は熱に変換して放出していた試験時の使用電力の 90% 以上を再び電力として系統へ戻し利用することで、使用時の CO₂排出量の大幅な削減を実現しています。今後ますます需要が高まる蓄電池などの製品試験に使用され、製品開発の現場において活躍が期待されるものです。

他の認定製品・サービスもそれぞれに特徴があり、各々の分野で CO₂削減に貢献しているものであると言えます。また、今年度は大企業から 5 件、中小企業から 4 件の申請があり、大企業のみならず、中小企業を含めた多くの企業における環境配慮意識や製品等の CO₂排出量の算定のニーズの高まりを感じております。

当協議会では、今後も認定製品等を広く発信し普及させていくとともに、製品・技術、サービスを通じた地球温暖化対策の推進に貢献する取組を、様々な主体に波及させていくことで、カーボンニュートラルの実現に貢献してまいります。

川崎CNブランドとは

目的

- ライフサイクル全体（原材料調達から廃棄・リサイクルまで）でCO₂削減に貢献する川崎発の製品・技術等を評価し、広く発信することを通して地球温暖化対策を図ります。
- ライフサイクル全体でのCO₂削減効果の考え方を普及させることにより、川崎市全体の環境意識・スキルの向上を図ります。
- 地球規模で温室効果ガスの排出削減に貢献している事業者が、市場で適切に評価される仕組みづくりを推進します。
- 認定製品・技術等を通じたCO₂削減の取組を市民・事業者等へ波及させることで、市全体の脱炭素化を促進します。

特徴

- ライフサイクル全体を通じた温暖化防止への貢献を評価



部門

製品・技術部門

川崎市内で製造または研究開発（確立）され、ライフサイクル全体でCO₂排出削減に貢献している製品・技術

サービス部門

川崎市内で提供または企画（確立）され、ライフサイクル全体でCO₂排出削減に貢献しているサービス

- 最終製品、素材、部品、研究活動、プロセス、各種サービス等を認定します。
- 川崎市内で研究開発（企画）又は製造（提供）されたものが対象です。
- 応募する企業・団体の規模（大企業/中小企業）や業種（製造業/非製造業）は問いません。

認定基準

- ① ライフサイクルでの環境効率の向上
- ② 市民・事業者を初めとした社会への波及効果
- ③ 製品の製造時・サービスの提供時等における脱炭素化の取組

※ ①及び②の基準を満たすことを必須とし、③の基準については、現在の取組状況について、大賞選定の参考等に使用します。

〈大賞について〉

認定基準のほか、独自性・先進性、地域社会・国際社会への貢献、カーボンリサイクル・資源循環の取組等の「川崎の特徴・強みを活かした脱炭素社会の実現への貢献度」を総合的に評価して大賞を選定します。

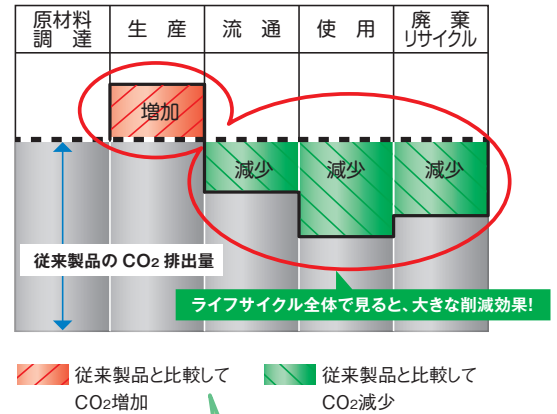
ロゴマーク

カーボンニュートラルに向かっていくという強い想いを、矢印で表現しています。矢印の形は資源循環や炭素原子をモチーフにしているとともに、「低CO₂川崎ブランド」を継承していることから、イメージカラーである水色を引き続き採用しています。



川崎CNブランド ロゴマーク

川崎CNブランドの考え方



ライフサイクル全体を通じて、温室効果ガスの排出量が削減された製品等を認定します。



株式会社計測技術研究所

Ene-phant series® 回生型電源 (双方向)



川崎メカニズム
同時認証

域外貢献量 29.2 トン
製品使用年数 10年間

製品・技術の概要

- 主に蓄電池の充電及び放電試験に使用される試験用電源
- 試験する装置に対して、電源としての役割と負荷装置としての役割を1台で行うことが可能
- 従来は熱に変換して放出していた試験時の使用電力の90%以上を再び電力として系統へ戻し利用することで、使用時のCO₂排出量を削減



Ene-phant series® 回生型電源 (双方向)

ライフサイクルCO₂削減効果

- 従来の熱へ変換する電子負荷+直流電源を使用した充放電装置と比較して約85%のCO₂排出量を削減

独自の回生技術により使用時の消費電力を大幅に削減



製品を通じた社会への波及効果

- 電源機器の評価や製品の出荷検査時の消費電力を大幅に削減
- 社会インフラに使用される様々な電源機器の評価・検査へ活用されることによりCO₂排出量削減に貢献

製品の製造時等における脱炭素化の取組

- 製品の小型化により、物流や部品の実装時の省資源化を実現

企業からのコメント



開発設計に携わったメンバー

「パワエレを通じて環境保全の一助になる」という会社環境方針や電動化・水素化に向けた社会の流れの中で、研究開発シーンにおける大電力試験のCO₂削減への貢献を目指してまいります。

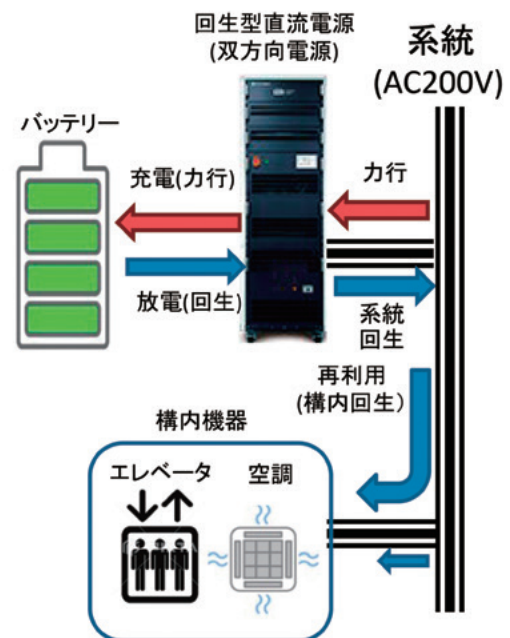
製品に関するトピックス

充放電試験に欠かせない直流電源と電子負荷

- 各種バッテリー（蓄電池）の開発や出荷検査では、数時間にわたって充電と放電を繰り返す「充放電試験」を行うことで、電池の充放電特性評価や劣化評価等、製品の安全性を確認しています。
- 充放電試験には、電力系統からの交流を直流へ変換して蓄電池へ充電する「直流電源」と、蓄電池から出力された直流を受けとって消費放電する「電子負荷」を蓄電池へ接続する必要があります。
- 従来の回生機能の無い電子負荷は、蓄電池から受け取った電力を熱に変換することで消費していました。

回生型電源（双方向）とは

- Ene-phat series[®] 回生型電源（双方向）には双方向コンバータが内蔵されており、交流から直流（またはその逆）等の変換を行うことができます。
- そのため、充放電試験の際に蓄電池から受け取った直流を交流に変換し、再び電力系統へ供給（回生）することで、電力の再利用を行うことができます。
- また、蓄電池から受け取った電力を熱に変換する必要がないため、熱を放出するための金属部品の削減や、熱を冷却するための空調設備の使用削減など、環境負荷の低減に貢献しています。
- このように、回生型電源（双方向）は、電力を高効率で再利用し、不足分の電力のみを電力系統から補うことで、少ない電力での充放電試験を実現しています。



イメージ図

回生型電源（双方向）の活用例

- その他の活用例として、バッテリーの充放電に利用する場合、例えば電気代の安い時間帯に充電しておき、電気代の高い時間帯にバッテリーから系統（商用ライン）に戻して空調やエレベーター等の電力として再利用することも可能です。

お問い合わせ先

株式会社計測技術研究所
〒212-0055 川崎市幸区南加瀬4-11-1
Tel 044-223-7950

業務内容

試験用電源機器・電子計測器・電源自動試験システム
などの開発・設計・製造・販売・保守サービス
<https://www.keisoku.co.jp/>





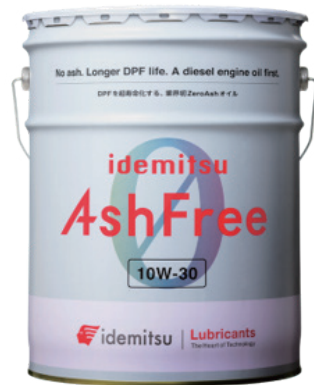
出光ルブテクノ株式会社 出光興産株式会社

ディーゼルエンジンオイル idemitsu AshFree

製品・技術の概要

- 排ガス浄化フィルター (DPF) の詰まり低減に特化した、業界初ディーゼルエンジンオイル
- DPFの詰まりの要因である金属系添加剤を使用しない配合により、DPFの再生※に伴うCO₂排出量を削減するとともに、DPFの超寿命化を実現

※DPFに捕捉された物質の燃焼



ライフサイクルCO₂削減効果

- 従来のディーゼルエンジンオイルと比較して約61%のCO₂排出量を削減



製品を通じた社会への波及効果

- DPFの再生回数の削減や超寿命化により、燃料使用量やDPFの交換に伴うCO₂排出量の削減に貢献
- DPFの再生回数を抑制することにより、運転手、整備士の労働時間の短縮が可能

製品の製造時等における脱炭素化の取組

- 製造時に川崎市内の実質再生可能エネルギー由来の電力を使用

企業からのコメント



出光が誇る高機能製品を数多く製造している京浜ルブセンター製造の idemitsu AshFree は DPF を超寿命化する業界初 ZeroAsh オイルです。既存のエンジンオイルと比較し、トラック、パッカー車、バスをご使用されているお客様のカーボンニュートラル実現に大きく貢献します。総合潤滑油メーカーならではのニーズ発掘力でお客様の要望にお答えします。今後、川崎市内のお客様にご紹介させていただき、市内の CO₂ 削減を推進します。

お問い合わせ先

出光興産株式会社 潤滑油二部 関東第一潤滑油課
〒100-8321 東京都千代田区大手町1丁目2番1号
Tel 03-6870-6586

業務内容

出光ルブテクノ株式会社
潤滑油の製造、試験分析、品質管理
<https://www.idemitsu-lb.com/>
出光興産株式会社
石油精製、石油化学、電子材料の製造と販売
<https://www.idemitsu.com/jp/index.html>



荏原実業株式会社

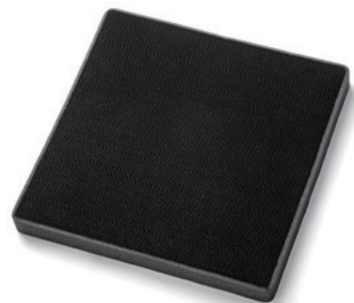
低濃度ハニカム脱臭フィルター EKOフィルター® EFS1(酸性ガス用)

川崎メカニズム
同時認証

域外貢献量 4.91 トン
※モデルケースで認定製品を2年間使用した場合
製品使用年数 2年間

製品・技術の概要

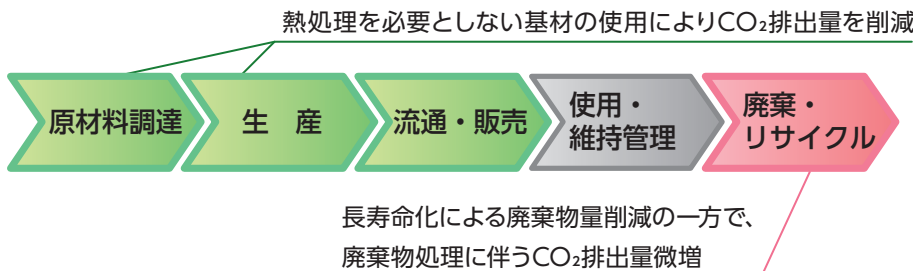
- 紙製基材に酸性成分（主に硫化水素）用触媒を担持させた脱臭フィルター
- 製品寿命は、従来製品（酸性ガス用）の2倍以上
- 原材料調達や製造工程で多くのエネルギーを必要とする活性炭を使用しないため、ライフサイクル全体でCO₂排出量を削減



EKOフィルター® EFS1 (酸性ガス用)

ライフサイクルCO₂削減効果

- 同一の脱臭設備で従来の活性炭フィルターを使用した場合と比較して約45%のCO₂排出量を削減



製品を通じた社会への波及効果

- 既存の脱臭用活性炭フィルターを本製品に置き換えることでCO₂排出量削減に貢献

製品の製造時等における脱炭素化の取組

- 今後、敷地内に設置した太陽光発電設備等により、製品の生産工程における使用電力全てをまかない、製造時のCO₂排出量を更に削減する予定

企業からのコメント

心地よい環境を、未来へつなぐ。



過去 20 年間にわたり、硫化水素対策としてご利用いただいている本製品は、既存製品と比較して CO₂排出量を大きく低減しています。当社は今後ともカーボンニュートラルに資する製品の開発を行ってまいります。

お問い合わせ先

荏原実業株式会社 中央研究所
〒215-0033 川崎市麻生区栗木2-3-10
Tel 03-5565-5095

業務内容

脱臭剤・脱臭装置・水処理・バイオマスに
関わる基礎研究・製品開発及び各種分析
<https://www.ejk.co.jp/>





株式会社計測技術研究所

Ene-phant series® 回生型電子負荷

川崎メカニズム
同時認証域外貢献量 2.61トン
製品使用年数 10年間

製品・技術の概要

- 主に電気自動車の急速充電器等の評価・検査等で使用される試験用模擬負荷装置
- 試験する装置によって、交流または直流で使用可能
- 従来は熱に変換して放出していた試験時の使用電力の90%以上を再び電力として系統へ戻し利用することで、使用時のCO₂排出量を削減

ライフサイクルCO₂削減効果

- 従来の熱へ変換する電子負荷と比較して約71%のCO₂排出量を削減
独自の回生技術により使用時の消費電力を大幅に削減



Ene-phant series® 回生型電子負荷



製品を通じた社会への波及効果

- 電源機器の評価や製品の出荷検査時の消費電力を大幅に削減
- 社会インフラに使用される様々な電源機器の評価・検査へ活用されることによりCO₂排出量削減に貢献

製品の製造時等における脱炭素化の取組

- 製品の小型化により、物流や部品の実装時のCO₂排出量を削減

企業からのコメント



開発設計に携わったメンバー

本開発に付随して特許取得（第 6635617 号）も致しました。「パワエレを通じて環境保全の一助になる」という会社環境方針や電動化・水素化に向けた社会の流れの中で、研究開発シーンにおける大電力試験の CO₂削減への貢献を目指してまいります。

お問い合わせ先

株式会社計測技術研究所
〒212-0055 川崎市幸区南加瀬4-11-1
Tel 044-223-7950

業務内容

試験用電源機器・電子計測器・電源自動試験システム
などの開発・設計・製造・販売・保守サービス
<https://www.keisoku.co.jp/>





桜総業株式会社

SAKURA LED LIGHTS (直管型) SKR40N73-MM83N

製品・技術の概要

- 4段調光機能内蔵の直管型LEDライト（市内で開発し、国内で生産）
- 調光器も調光器工事も不要で、使用方法により更なる節電効果が期待できる
- LEDの高性能化と電子回路構成の改良により消費電力の削減と長寿命化を実現



SAKURA LED LIGHTS (直管型)

ライフサイクルCO₂削減効果

- 旧モデルの直管型LEDライトと比較して約34%のCO₂排出量を削減



製品を通じた社会への波及効果

- 製品の省電力化、長寿命化の実現により、建物の照明に係る消費電力の削減と買い替えに伴う廃棄物の発生抑制に貢献

製品の製造時等における脱炭素化の取組

- 国産製品であることに加え、構成部品の省資源化により、生産及び流通・販売時の輸送のCO₂排出量を削減

企業からのコメント



「CO₂排出削減により、カーボンニュートラルの実現にまた一歩近づく」簡単に想像はできても、何から始めるか悩むケースがございます。SAKURA LED LIGHTS(直管型)は、一番身近な所で照明を交換することから、4段調光機能内蔵による省電力化でCO₂排出削減に貢献します。弊社はこれからもカーボンニュートラルの実現に向けた活動に取り組んで参ります。

お問い合わせ先

桜総業株式会社 LED営業部
〒230-0001 横浜市鶴見区矢向4丁目30番16号
Tel 045-585-1424

業務内容

ワイヤーハーネス、表面実装、およびワイヤーボンディング加工、LED照明の設計開発・製造・販売
<https://sakura-sohgyo.co.jp>



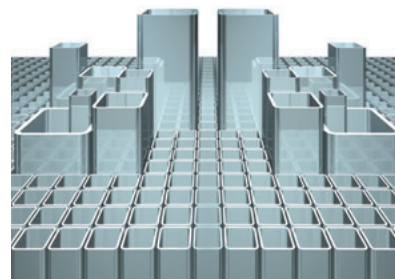


JFEスチール株式会社 東日本製鉄所（京浜地区）

建築構造用高強度冷間ロール成形角形鋼管 「JBCR® 385」

製品・技術の概要

- 物流倉庫などの中低層大型物件に向けた高強度厚肉鋼管
- 冷間ロール成形角形鋼管としては国内最高強度
- 原材料の添加物比率変更により鋼材の機能を強化することで、薄肉化・軽量化を実現し、原材料投入量や輸送負荷を削減



建築構造用高強度冷間ロール成形角形鋼管
「JBCR® 385」

ライフサイクルCO₂削減効果

- 従来の角形鋼管と比較して約15%のCO₂排出量を削減

製品の高強度化により原材料投入量を削減し、CO₂排出量を削減



軽量化により輸送に伴うCO₂排出量を削減

製品を通じた社会への波及効果

- 近年ニーズの増加している物流倉庫などの中低層大型物件に採用されることでCO₂排出量削減に貢献

製品の製造時等における脱炭素化の取組

- 温室効果ガス排出削減技術による削減量を任意の鋼材に割り当てたグリーン鋼材「JGreeX®」の供給や、カーボンリサイクル高炉、水素製鉄等の技術開発により、グループ全体で2050年のカーボンニュートラルの実現を目指している

企業からのコメント



商品技術部 溶接管室
熊澤慎太郎



商品技術部 溶接管室
依田優太郎

JBCR®385 は、建築基準法第 37 条第 2 号による国土交通大臣の認定も取得しました。

一辺の長さが 250 mm～500 mmの四角い鋼管で、倉庫、マンション、ホテル、体育館、立体駐車場などの柱に使用されます。高強度・軽量化により、CO₂排出量の削減を実現した当商品を、広くご使用して頂き、社会貢献へ繋がりたいと思います。

お問い合わせ先

JFEスチール株式会社 東日本製鉄所（京浜地区）
〒210-0868 川崎市川崎区扇島1番地1
Tel 044-322-1601 FAX 044-322-1539

業務内容

鉄鋼製品・半製品の製造等
<https://www.jfe-steel.co.jp/>





東芝インフラシステムズ株式会社
セキュリティ・自動化システム事業部 小向工場

次世代自動改札機システム (EG-8000)

製品・技術の概要

- 自動改札機、IC専用の簡易改札機、各装置を制御する監視盤から構成される次世代自動改札機システム
- 通路幅を広げるため原材料を削減し、筐体のスリム化を実現
- デバイスの最適化により、使用時の消費電力を大幅に削減



次世代自動改札機システム (EG-8000)

ライフサイクルCO₂削減効果

- 旧モデルの自動改札機システムと比較して約16%のCO₂排出量を削減

省資源化により、運搬時のCO₂排出量削減



製品を通じた社会への波及効果

- 公共性が高い鉄道の駅舎へ設置することにより、各鉄道事業者の脱炭素化の取組に貢献

製品の製造時等における脱炭素化の取組

- 事業所におけるカーボンニュートラル都市ガスの導入、FIT非化石証書付電力の購入により、製造に伴うCO₂排出量を削減

企業からのコメント



弊社の自動改札機システムは、スリム化&省電力化で、環境負荷の低い製品を社会に提供します。川崎市の企業として、今後もカーボンニュートラルの実現に向けた活動に取り組んでいきます。

お問い合わせ先

東芝インフラシステムズ株式会社 小向事業所
〒212-8581 川崎市幸区小向東芝町1番地
Tel 044-548-5003

業務内容

電波機器、セキュリティ自動化機器等の開発・設計・製造・保守
<https://www.global.toshiba/jp/company/infrastructure.html>





東芝インフラシステムズ株式会社 電波システム事業部 小向工場

超短波全方向式無線標識施設 DVOR-07C型装置 (TW4706)

製品・技術の概要

- ドップラー効果を利用したVOR装置
- 航空機に高精度な方位情報を提供する無線標識施設として、航空機の安全で効率的な運航のために重要な役割を担う
- 監視・計測項目の追加等の機能改善を行うと同時に、ユニットのモジュール化や各ラックの構成見直し等を行うことで小型化し省資源化を実現

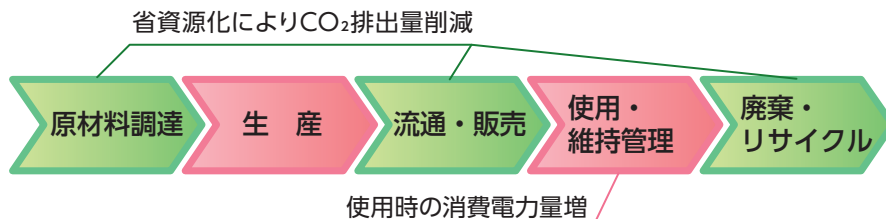


DVOR-07C型装置

ライフサイクルCO₂削減効果

- 旧モデルのDVOR装置※と比較して約4%のCO₂排出量を削減

※DVOR: Doppler VHF omnidirectional radio range



製品を通じた社会への波及効果

- 他機種の製品にも応用可能な技術として社会へ貢献

製品の製造時等における脱炭素化の取組

- 事業所におけるカーボンニュートラル都市ガスの導入、FIT非化石証書付電力の購入により、製造に伴うCO₂排出量を削減

企業からのコメント



今回開発した製品は、従来製品よりも多数の機能追加や改善を行いながらも、ユニットのモジュール化等で小型化し省資源化を実現しました。今後も弊社は、川崎市の企業として、カーボンニュートラルの実現に向けた活動に取り組んでまいります。

お問い合わせ先

東芝インフラシステムズ株式会社 小向事業所
〒212-8581 川崎市幸区小向東芝町1番地
Tel 044-548-5003

業務内容

電波機器、セキュリティ自動化機器等の開発・
設計・製造・保守
<https://www.global.toshiba/jp/company/infrastructure.html>





日本ダスト株式会社 NDK夜光工場

高性能破砕機による処理困難物の破砕処理

サービスの概要

- 処理困難な産業廃棄物の中間処理サービス
- 二軸二段式の破砕機の導入により、重機等による前処理工程を不要とし、破砕処理に係る燃料や電力を削減
- これまで県外へ搬出していた処理困難物の市内での処理を実現



NDK夜光工場

ライフサイクルCO₂削減効果

- 本サービスを導入しなかった場合と比較して約28%のCO₂排出量を削減

高効率の破砕機の導入により消費電力を大幅に削減



二軸二段式破砕機

サービスを通じた社会への波及効果

- 本サービスの提供を通して、処理困難物の焼却回避や運搬の効率化に貢献

サービスの提供時等における脱炭素化の取組

- コンピューター制御により、電圧を抑制して処理可能な破砕機を採用
- 処理効率向上により、破砕機や重機の稼働時間を大幅に削減

企業からのコメント



人の手や重機を用いて前処理を行っていた『処理困難物』を直接投入し破砕することが可能になり、従来の工場よりCO₂の排出を抑えながら廃棄物の破砕処理が可能となりました。使用する燃料や電力の削減とともに、破砕することで容積を減らし、一度に大量の廃棄物を運搬することで、カーボンニュートラルの実現やSDGsの達成、環境保全への貢献に取り組んで参ります。

お問い合わせ先

日本ダスト株式会社
〒210-0857 川崎市川崎区白石町3-44
TEL 044-333-9458 FAX 044-333-1463

業務内容

産業廃棄物収集運搬及び中間処理業、一般廃棄物収集運搬業、資源リサイクル事業、環境調査コンサルタント
<https://ndkgroup.co.jp/>

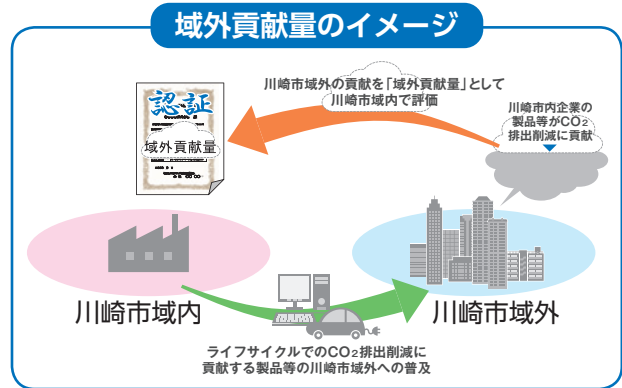




川崎メカニズム認証制度とは

目的

- ライフサイクル全体 (原材料調達から廃棄・リサイクルまで) でCO₂削減に貢献する川崎発の製品・技術等を評価し、広く発信することを通して地球温暖化対策を図ります。
- ライフサイクル全体でのCO₂削減効果の考え方を普及させることにより、川崎市全体の環境意識・スキルの向上を図ります。
- 地球規模で温室効果ガスの排出削減に貢献している事業者が、市場で適切に評価される仕組みづくりを推進します。
- 川崎発の製品・技術等が川崎市域外で温室効果ガスの削減に貢献する量を、「域外貢献量」として定量的に評価します。



認証基準

域外貢献量を認証するにあたり、次の事項の妥当性等を「域外貢献量算定ガイドライン」等に基づき審査します。

■ 域外貢献量算定にあたっての基本的な条件

- ライフサイクル全体での削減効果
- 川崎市域外での温室効果ガスの削減貢献
- 独自性・先進性等

■ 申請時のポイント

- ・ 応募製品・技術等及び機能単位*の設定
- ・ 評価バウンダリ (算定を行う範囲) の設定
- ・ 削減寄与率 (市内事業者による貢献度) の設定
- ・ 市域外への普及量の把握
- ・ 各種データの収集

*評価したい製品と比較したい製品とを算定する上で、定量的な性能で揃えた単位

「川崎CNブランド」と同時申請可能

域外貢献量およびライフサイクルCO₂削減量の認証

● 域外貢献量

市内事業者の製品・技術等が川崎市域外でCO₂の削減に貢献する量を認証します。

● ライフサイクルCO₂削減量

製品・技術等の温室効果ガス削減量として、機能単位あたりのライフサイクル全体でCO₂を削減する量「ライフサイクルCO₂削減量」(右図*)を認証します。

従来製品	調達	生産	流通	使用	廃棄
新製品	調達	生産	流通	使用	廃棄

ライフサイクルCO₂削減量

メカニズムの認証を受けると...

- 認証製品・技術等のPRやCSRへの取組への活用
* 域外貢献量認証過程で算定することが可能な1製品あたりの削減量「ライフサイクルCO₂削減量」をPRに御活用ください。
- 展示会などで、情報発信
- ホームページやパンフレットなどでの広報
- 川崎メカニズムロゴマークの使用

川崎CNブランド等推進協議会

川崎市と産業支援団体等*で構成され、川崎発の脱炭素化に向けた取組を企業、市民及び行政の協働により推進しています。

「川崎CNブランド」「川崎メカニズム認証制度」の認定・認証を行うとともに、川崎CNブランドの前身の「低CO₂川崎ブランド」を含めて認定製品等の普及促進に向けた取組を行っています。

*川崎CNブランド等推進協議会は、川崎商工会議所、(公財)川崎市産業振興財団、(特非)産業・環境創造リエゾンセンター、川崎信用金庫、川崎市で構成しています。



川崎CNブランド ロゴマーク



川崎メカニズム ロゴマーク

低CO₂川崎ブランド

ライフサイクル全体でCO₂削減に貢献する川崎発の製品・技術等を高く評価し、発信する制度として2009年度から開始した制度です。

我が国の産業をけん引する企業が集積する川崎市において、ライフサイクル全体でのCO₂削減という考え方をいち早く取り入れており、2022年度までの14年間で126件の製品・技術、サービスを認定してきました。

LOW CARBON

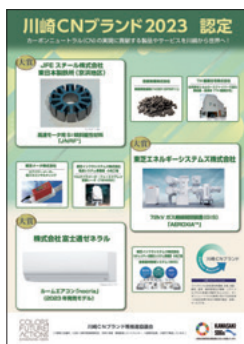


低CO₂川崎ブランド

低CO₂川崎ブランド ロゴマーク

普及促進に向けた取組

認定製品等のポスターの作成や展示会での出展を通じて認定製品の情報発信を行っています。



川崎市役所第三庁舎



川崎国際環境技術展

普及啓発事例

かわさきSDGsランドでのPR

2022年度に低CO₂川崎ブランド大賞を受賞した株式会社タマックと協議会で、市内で開催された「かわさきSDGsランド」に出展し、事業や認定製品のPRのため、端材を使ったバードコールづくり体験を実施しました。





COLORS
FUTURE!
ACTIONS
KAWASAKI 100th



KAWASAKI
SDGs 

川崎市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

川崎CNブランド2024 製品紹介パンフレット

印刷・発行 2024年11月
企画・編集 川崎CNブランド等推進協議会
連絡先 川崎市環境局 脱炭素戦略推進室
〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
電話 044-200-3872
FAX 044-200-3921
Eメール 30titan@city.kawasaki.jp
ホームページ <https://www.k-co2brand.com/>

川崎CNブランド

🔍 検索



日本語版



English



簡体中文